

株主メモ

- 事業年度 4月1日～翌年3月31日
- 剰余金の配当基準日 期末配当金 3月31日
中間配当金 9月30日
- 定時株主総会 毎年6月
- 単元株式数 100株
- 株主名簿管理人 東京都中央区八重洲一丁目2番1号 みずほ信託銀行株式会社

	証券会社に口座をお持ちの場合	特別口座の場合
郵便物送付先	お取引の証券会社	〒168-8507 東京都杉並区和泉2-8-4 みずほ信託銀行株式会社 証券代行部
電話お問い合わせ先		0120-288-324(フリーダイヤル)
お取扱店		みずほ信託銀行株式会社 本店および全国各支店 みずほ証券株式会社 本店および全国各支店
ご注意	未払配当金の支払(※)、支払明細発行については、右の「特別口座の場合」の郵便物送付先・電話お問い合わせ先・お取扱店をご利用ください。	単元未満の買取以外の株式売買はできません。

※未払配当金のみ、みずほ銀行本店および全国各支店でもお取扱いたします。

- 公告方法 電子公告 (<http://www.musashinet.co.jp/koukoku/>)
ただし、やむを得ない事由によって、電子公告による公告をすることができない場合には、日本経済新聞に掲載して行います。

●上場株式配当等の支払に関する通知書について

お支払する配当金については、株主様に支払配当金額や源泉徴収税額等を記載した支払通知書を通知することとなっております。つきましては、支払通知書の法定要件を満たした配当金計算書を同封しておりますので、平成27年の確定申告の添付書類としてご使用ください。

なお、配当金を株式数比例配分方式によりお受け取りの場合、源泉徴収税額の計算は証券会社等にて行われますので、平成27年の確定申告の添付書類としてご使用になる支払通知書につきましては、お取引の証券会社等へご確認ください。

株式会社 **ムサシ**

本社：〒104-0061 東京都中央区銀座八丁目20番36号

TEL.03-3546-7711

<http://www.musashinet.co.jp/>

Financial Report 2014

株式会社 **ムサシ**
第93期 年次報告書

2013年4月1日～2014年3月31日



代表取締役社長
羽鳥 雅孝



企業理念

私たちは
人とシステムの創造と調和を実現し、
健全で信頼される企業を目指し続けます。

事業ドメイン

SYSTEM CREATION COMPANY

— 価値創造企業 —

株主の皆様におかれましては、日頃より格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

ここに第93期年次報告書をお届けするにあたり、ひとことご挨拶申し上げます。

業績の概要

当連結会計年度におけるわが国経済は、円安や株高を背景に企業生産や個人消費が回復し、企業収益が改善するなか期末にかけて設備投資にも持ち直しの動きが見られるなど景気は緩やかな回復基調で推移いたしました。

このような状況のもと当社グループでは、情報のデジタル化業務の受注や印刷機材の拡販に注力する一方、貨幣処理機器やセキュリティ機器、並びに昨年7月に実施された参議院選挙向け機材の販売に積極的に取り組んでまいりました。

この結果、当期の連結業績は、売上高364億12百万円(前期比3.8%減)、営業利益12億4

百万円(前期比24.9%減)、経常利益13億22百万円(前期比26.5%減)、当期純利益7億61百万円(前期比5.0%減)となりました。

対処すべき課題

当社グループは、情報のデジタル化事業につきましては、官公庁・自治体を中心とする大型案件の受注獲得に向け、当社グループの強みを活かした競争力のある提案や特徴のあるサービスの提供を推進し、アウトソーシング事業の拡大に取り組んでまいります。

印刷システム機材分野では、オフセット印刷市場に対してはソフトウェアを含めたシステム提案によりCTP機器の拡販に取り組んでまいります。また、環境に配慮した無処理型印刷材料の普及促進を図ってまいります。一方、オンデマンド印刷市場に対してはPOD機器の拡販に注力するとともに、付加価値を高める後加工機器の販売を促進してまいります。また、UV

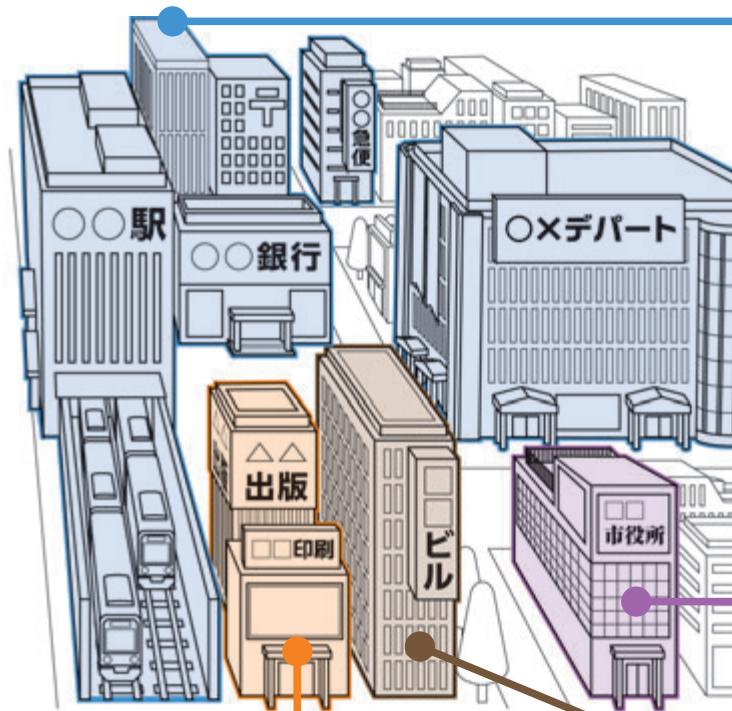
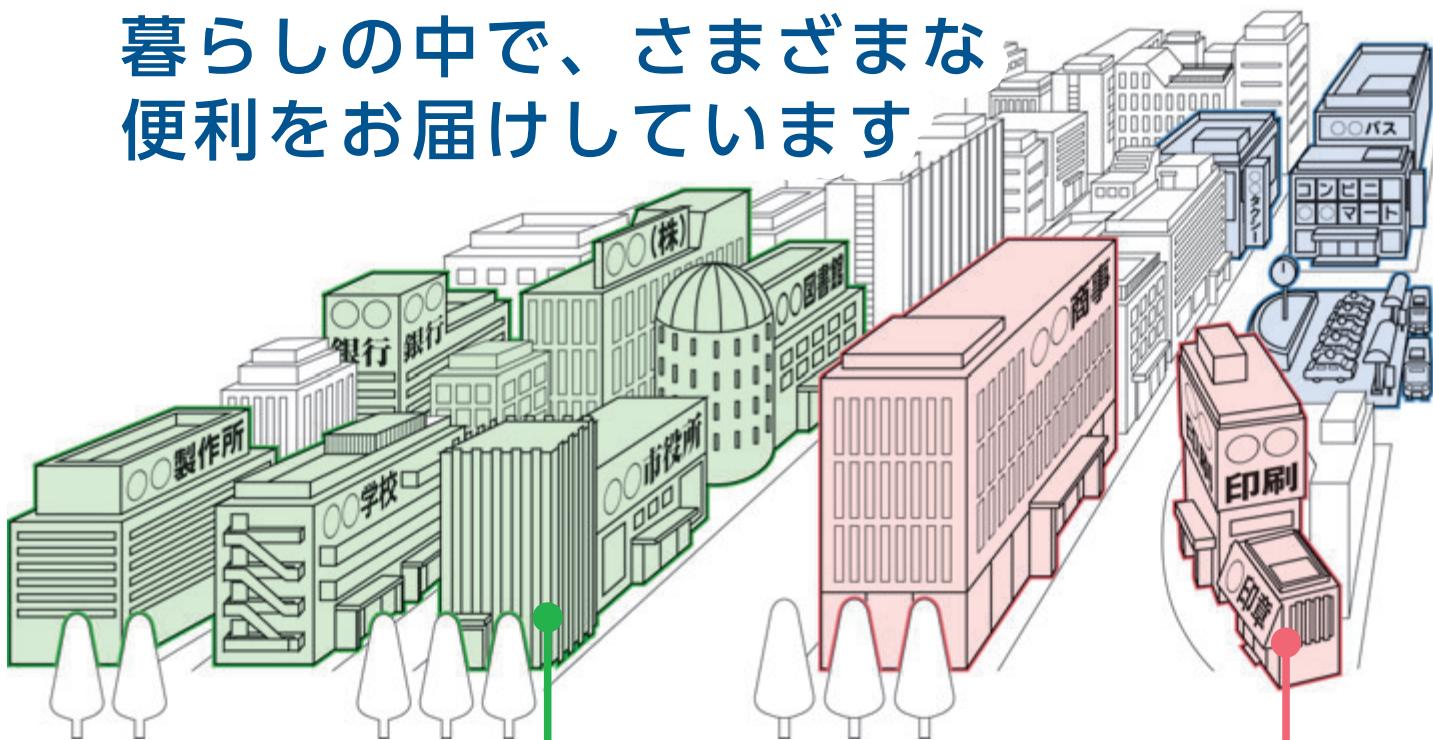
インクジェットプリンターの拡販にも取り組み、事業領域の拡大を図ってまいります。

金融汎用システム機材分野では、主要市場である金融機関に対して営業体制や事務の効率化方針、危機管理の方向性など顧客の状況に応じたソリューション提案を行うため、事務リスク低減に関わる機器及びシステムの開発を推進してまいります。

選挙システム機材分野では、国政選挙の有無にかかわらず安定した業績を確保するため、地方選挙での事務効率化機器の導入促進に注力するほか、選挙業務管理ソフトの拡販に取り組んでまいります。

紙・紙加工品分野では、紙器用板紙の販売シェア拡大と市場ニーズに対応した付加価値の高いオリジナル商品の開発により、事業拡大を図ってまいります。

暮らしの中で、さまざまな便利をお届けしています



情報・産業システム機材

文書やマイクロフィルムなどの電子データ化、マイクロフィルム撮影などの総合的メディアコンバートサービスをご提供。
工業用非破壊検査機材のご提供。



ドキュメントスキャナー

主な販売先

- 官公庁・自治体
- 企業・金融機関
- 学校・図書館
- 非破壊検査業

印刷システム機材

先進のデジタルプリプレスシステムやプリントオンデマンドシステム、印刷材料などを富士フィルムの特約店としてご提供。名刺やハガキ等のプリントシステムをご提供。



CTPシステム

主な販売先

- 印刷会社
- 文具・印章店
- 企業

紙・紙加工品

様々な分野で使用される紙や、付加価値の高い特殊紙、商品パッケージなどの紙加工品をご提供。



主な販売先

- 印刷会社
- 紙器業
- 出版社

金融汎用システム機材

売上金精算など現金を取り扱う業務の効率化や管理業務の安全性を高める貨幣処理機器やセキュリティ機器をご提供。



紙幣整理機

主な販売先

- 金融機関
- 流通業
- 宅配業・交通機関・公営競技場
- アミューズメント

選挙システム機材

投票用紙読取分類機等の機器や開く投票用紙、投票箱や投票記載台など、投開票事務の効率化機材や選挙啓発用品などをご提供。



投票用紙読取分類機

主な販売先

- 自治体

不動産賃貸・リース事業等

不動産賃貸やオートリース、各種保険サービスをご提供。



主な販売先

- ムサシグループ

特集1 グループで取り組む **メディアコンバート事業**

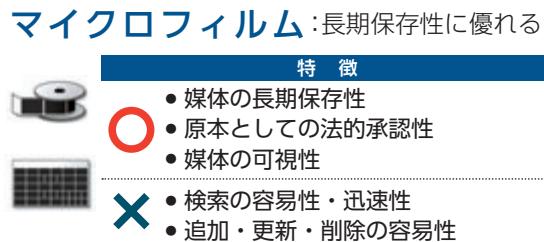
今、あらためて注目されるメディアコンバート

公文書管理法やe-文書法の施行、震災による重要文書の消失被害などにより、紙媒体やマイクロフィルムの電子データ化をはじめとするメディアコンバートの需要が高まっています。当社は、国内最大のイメージングセンターを開設するなど、高い品質と生産性で多様なニーズにお応えしています。



イメージングセンター

各メディアの特性に合わせて、メディアコンバートサービスをご提供しています



特集2 原点**モノ**語り・・・「数える」が技術の出発点

ムサシのモノづくりの原点、2つの計数機誕生

1946年(昭和21年)、紙の卸販売で創業した当社は、その後、取扱商品を拡大し商社として活動の場を広げる一方、市場に存在しない「オリジナル商品」を提供したいとの発想から「モノづくり」に参入しました。

紙幣計数機の発売

1965年(昭和40年)、メーカーとして初めて取り扱った商品が、お札の枚数を高速でカウントする「紙幣計数機」。「**あったら便利な機械**」の具現化でした。当時は銀行でも紙幣を手作業で数えていたため、機械化による業務のスピードアップとコスト削減を提案しました。



当社初の紙幣計数機

そして 「数える」技術を他市場でも展開しようと、次に着目したのが選挙事務。

投票用紙計数機の誕生

紙幣計数機を改造し、1970年(昭和45年)に投票用紙を数える「投票用紙計数機」を発売。当時は、選挙の開票集計もすべて手作業で行われていたため、業界で初めて、計数機導入による省力化や時間短縮などコスト削減につながる提案をしました。



計数機を導入した開票作業

今日へ

同じルーツから、それぞれが進化

貨幣処理機器と選挙機器のルーツは同じ。その後、2つのオリジナル商品はそれぞれが進化を遂げ、現在の「金融汎用システム機材」と「選挙システム機材」の事業に成長しました。

情報・印刷・産業システム機材

当期の概況

売上高

236億16百万円

営業利益

72百万円

情報・産業システム機材は、工業用非破壊検査機材の販売は伸長したものの、文書のデジタル化業務の受注が主要顧客である官公庁の予算の縮小傾向が続き、大口案件の減少などの影響で落ち込んだため、前年実績を若干下回りました。

印刷システム機材は、印刷材料の販売は消費増税前の駆け込み需要もあり順調に推移したものの、印刷機器の販売が長引く設備投資の冷え込みにより落ち込んだため、前年実績を若干下回りました。

以上の結果、売上高は236億16百万円(前期比3.6%減)となりましたが、利益率が低下し営業利益は72百万円(前期比67.7%減)となりました。

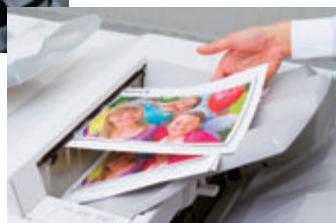
◆売上高／営業利益構成比



◆売上高／営業利益 (百万円)



デジタルスキャンニング



プリントオンデマンドシステム

金融汎用・選挙システム機材

当期の概況

売上高

62億70百万円

営業利益

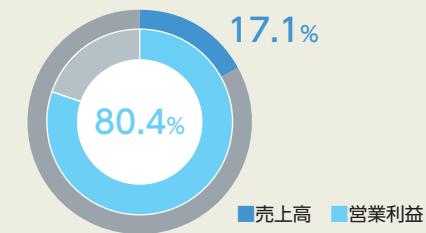
9億65百万円

金融汎用システム機材は、流通市場向け精算システムの販売は落ち込んだものの、金融機関の業績回復に伴う設備投資需要の増加によりセキュリティ機器や紙幣整理機の販売が順調に推移し、前年実績を上回りました。

選挙システム機材は、参議院選挙や東京都知事選挙が実施され、投票用紙読み取り分類機をはじめ各種機材の販売が好調に推移しましたが、前年度に実施された衆議院選挙の需要には及ばず前年実績を下回りました。

以上の結果、売上高は62億70百万円(前期比6.9%減)となり、営業利益は9億65百万円(前期比18.3%減)となりました。

◆売上高／営業利益構成比



◆売上高／営業利益 (百万円)



紙幣入金機



投票用紙交付機

紙・紙加工品

当期の概況

売上高 **63億28百万円**

営業利益 **6百万円**

紙・紙加工品は、景気の回復や円安による輸入紙の減少などにより、広告宣伝向け印刷用紙の販売は伸長しましたが、紙器用板紙の軽量化や低グレード化による販売減や特殊包装紙の需要が減少しました。

この結果、売上高は63億28百万円(前期比1.2%減)と前年実績を若干下回りましたが、利益率が低下し営業利益は6百万円(前期比74.7%減)となりました。



不動産賃貸・リース事業等

当期の概況

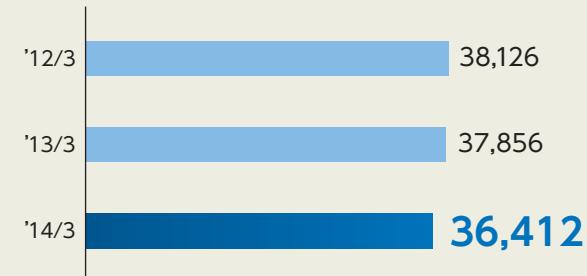
売上高 **4億77百万円**

営業利益 **1億56百万円**

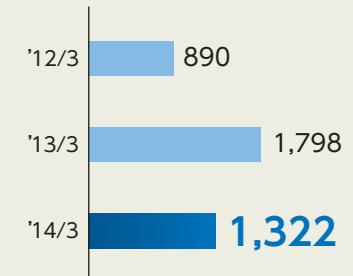
不動産賃貸・リース事業等の業績は概ね堅調に推移し、売上高は4億77百万円(前期比1.1%減)、営業利益は1億56百万円(前期比7.2%減)となりました。



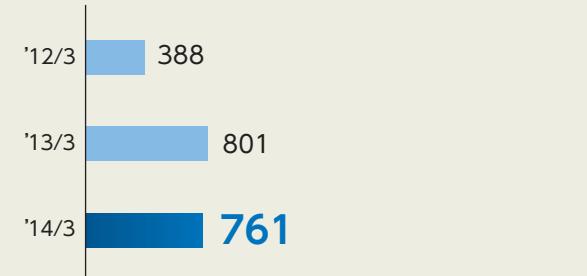
売上高 (単位:百万円)



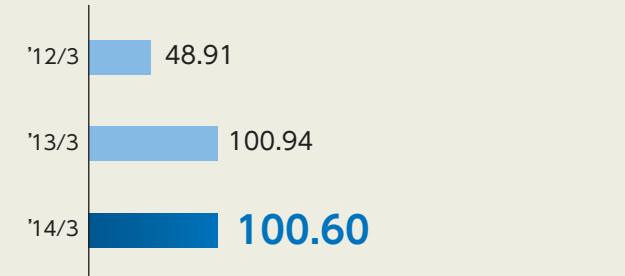
経常利益 (単位:百万円)



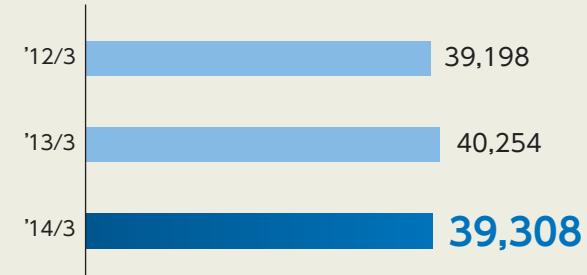
当期純利益 (単位:百万円)



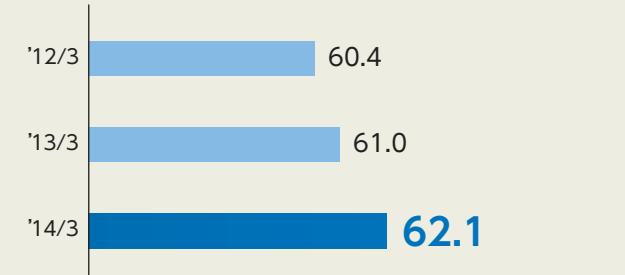
1株当たり当期純利益 (単位:円)



総資産 (単位:百万円)



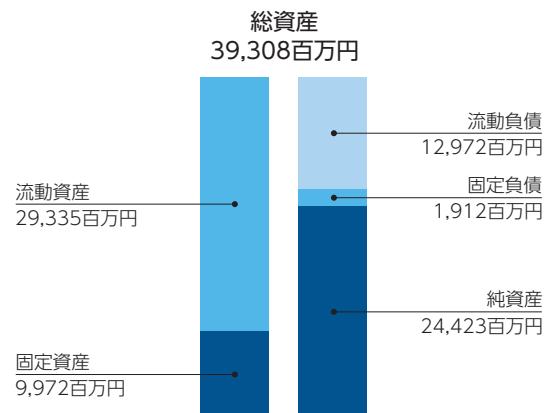
自己資本比率 (単位:%)



連結貸借対照表 (単位:百万円未満切捨て)

科目	第93期 2014年3月31日現在	第92期 2013年3月31日現在
(資産の部)		
1 流動資産	29,335	30,108
2 固定資産	9,972	10,145
有形固定資産	3,442	3,529
無形固定資産	113	97
投資その他の資産	6,416	6,518
資産合計	39,308	40,254
(負債の部)		
3 流動負債	12,972	13,569
4 固定負債	1,912	2,139
負債合計	14,884	15,709
(純資産の部)		
株主資本	24,189	24,266
その他の包括利益累計額	234	278
5 純資産合計	24,423	24,544
負債・純資産合計	39,308	40,254

当期末総資産



ポイント

(資産)

1 流動資産

流動資産における減少の主な要因は、現金及び預金の減少(4億96百万円)及び受取手形及び売掛金の減少(4億91百万円)、増加の主な要因は、棚卸資産の増加(1億90百万円)であります。

2 固定資産

固定資産における減少の主な要因は、投資その他の資産の「その他」の減少(9億73百万円)、増加の主な要因は、退職給付に係る資産の増加(6億66百万円)及び投資有価証券の増加(1億20百万円)であります。

(負債)

3 流動負債

流動負債における減少の主な要因は、支払手形及び買掛金の減少(4億3百万円)及び未払法人税等の減少(2億54百万円)、増加の主な要因は、流動負債の「その他」の増加(1億30百万円)であります。

4 固定負債

固定負債における減少の主な要因は、固定負債の「その他」の減少(2億97百万円)及び退職給付引当金の減少(2億1百万円)、増加の主な要因は、退職給付に係る負債の増加(1億79百万円)及び繰延税金負債の増加(87百万円)であります。

(純資産)

5 純資産

純資産における増加の要因は、当期純利益7億61百万円の計上及びその他有価証券評価差額金の増加(74百万円)、減少の要因は、剰余金の配当(2億70百万円)、自己株式の取得(5億68百万円)及び退職給付に係る調整累計額(1億18百万円)であります。

連結損益計算書 (単位:百万円未満切捨て)

科目	第93期 2013年4月1日から 2014年3月31日まで	第92期 2012年4月1日から 2013年3月31日まで
売上高	36,412	37,856
売上原価	28,892	29,736
売上総利益	7,520	8,119
販売費及び一般管理費	6,315	6,516
営業利益	1,204	1,603
営業外収益	180	267
営業外費用	62	72
経常利益	1,322	1,798
特別利益	-	1
特別損失	12	301
税金等調整前当期純利益	1,309	1,498
法人税、住民税及び事業税	476	615
法人税等調整額	71	81
少数株主損益調整前当期純利益	761	801
当期純利益	761	801

連結キャッシュ・フロー計算書 (単位:百万円未満切捨て)

科目	第93期 2013年4月1日から 2014年3月31日まで	第92期 2012年4月1日から 2013年3月31日まで
6 営業活動によるキャッシュ・フロー	450	2,508
7 投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 720	△ 570
8 財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 831	△ 182
現金及び現金同等物に係る換算差額	4	6
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△ 1,096	1,762
現金及び現金同等物の期首残高	16,245	14,483
現金及び現金同等物の期末残高	15,149	16,245

ホームページでさらに詳しい情報をご覧ください。

<http://www.musashinet.co.jp/>

当社ホームページ「IR情報」では、決算説明会資料などのIR関連情報をタイムリーに載せております。



ポイント

6 営業活動によるキャッシュ・フロー

税金等調整前当期純利益13億9百万円、減価償却費3億26百万円、売上債権の減少4億87百万円等の収入要因がありましたが、たな卸資産の増加1億90百万円、仕入債務の減少4億7百万円、法人税等の支払7億46百万円等の支出要因により相殺されたことによるものであります。

7 投資活動によるキャッシュ・フロー

定期預金の預入払戻純額5億円、有形固定資産の取得による支出1億89百万円等によるものであります。

8 財務活動によるキャッシュ・フロー

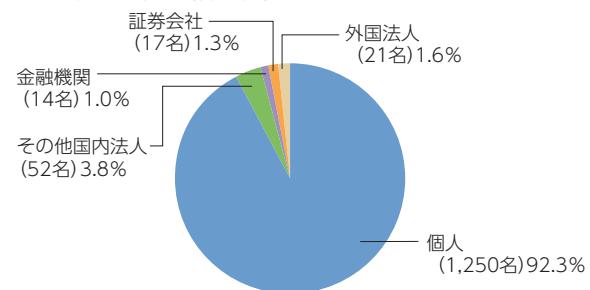
自己株式の取得による支出5億68百万円、配当金の支払2億69百万円等によるものであります。

- ▶ 発行可能株式総数 28,920,000株
- ▶ 発行済株式の総数 7,950,000株
- ▶ 株主数 1,354名
- ▶ 大株主

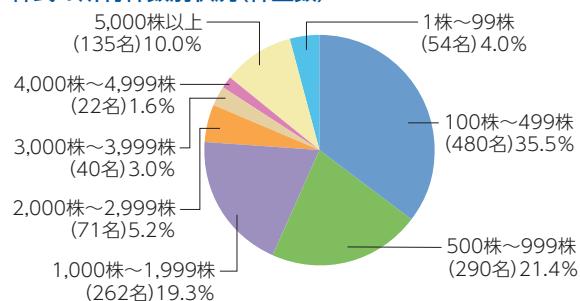
株主名	持株数	持株比率
上毛実業株式会社	1,388 千株	18.7%
ショウリン商事株式会社	897	12.1
ムサシ社員持株会	514	6.9
株式会社みずほ銀行	360	4.8
ムサシ互助会	299	4.0
小林厚一	237	3.2
株式会社三井住友銀行	190	2.6
日本トラスティ・サービス信託銀行(株)信託口	160	2.2
羽鳥雅孝	137	1.8

(注) 持株数は、千株未満を切り捨てて表示しております。
持株比率は自己株式(506千株)を控除して計算しております。

株式の所有者別状況(株主数)



株式の所有株数別状況(株主数)



IRカレンダー



商号 株式会社ムサシ
 設立 1946年12月
 本社 東京都中央区銀座八丁目20番36号
 資本金 1,208,500,000円
 従業員数 連結538名/単体256名(2014年3月末現在)

主要取引銀行 株式会社みずほ銀行
 株式会社三井住友銀行
 株式会社三菱東京UFJ銀行

関係会社 ムサシ・フィールド・サポート(株)
 武蔵エンジニアリング(株)
 (株)ムサシ・エービーシー
 ムサシ・イメージ情報(株)
 ムサシ・アイ・テクノ(株)
 エフ・ビー・エム(株)
 武蔵興産(株)
 (株)武蔵エンタープライズ
 (株)ジェイ・アイ・エム

役員 取締役名譽会長 都木 恒夫
 代表取締役会長 小林 厚一
 代表取締役社長 羽鳥 雅孝
 常務取締役 青坂 修司
 常務取締役 佐々木 淳
 取締役 村田 進
 取締役 山村 隆
 取締役 吉川 伸一
 取締役 浅川 正仁
 取締役 新妻 一俊
 常勤監査役 中川 裕務
 常勤監査役 桑原 弘順
 社外監査役 安藤 信彦
 社外監査役 浅野 修一

事業所

- ▶ 本社
- ▶ 東京第一支店/東京第二支店
- ▶ 紙・紙加工営業部/海外営業部
東京都中央区銀座八丁目20番36号
- ▶ 札幌支店
札幌市北区北十二条西三丁目1番15号(N12ビル)
- ▶ 仙台支店
仙台市青葉区錦町一丁目10番11号(新平和ビル)
- ▶ 北関東支店
さいたま市大宮区土手町一丁目2番地(JA共済埼玉ビル)
- ▶ 東関東支店
千葉市中央区新町18番地10(千葉第一生命ビルディング)
- ▶ 神静支店
横浜市西区北幸二丁目8番4号(横浜西口KNビル)
- ▶ 名古屋支店
名古屋市中村区名駅二丁目35番22号(メビウス名古屋)
- ▶ 大阪支店
東大阪市長田中三丁目6番1号
- ▶ 中四国支店
広島市中区本川町二丁目6番11号(第7ウエノヤビル)
- ▶ 福岡支店
福岡市博多区店屋町6番25号(オクターブ店屋町ビル)
- ▶ 新潟営業所
- ▶ 茨城営業所
- ▶ 静岡営業所
- ▶ 浜松営業所
- ▶ 北陸営業所
- ▶ 岡山営業所
- ▶ 高松営業所

